



MBT NEWS LETTER

第227号
'23/08/14

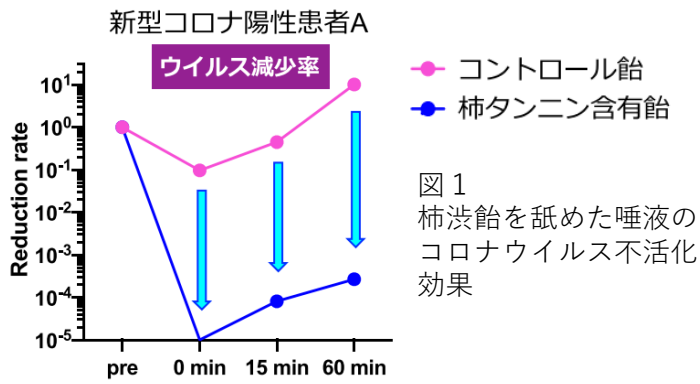
<MBTコロナ克服キャンペーン・奈良医大研究成果情報>

柿タンニン（柿渋）含有飴の、COVID-19 患者に対する口腔内新型コロナウイルス (SARS-CoV-2) 抑制効果を証明



奈良医大免疫学講座
伊藤利洋教授

- ・奈良県立医科大学免疫学講座の伊藤利洋教授らの共同研究グループは、MBTコンソーシアム会員企業のカンロ株式会社との共同研究で、柿から高純度に抽出した柿タンニン（柿渋）を含有する飴（以降、柿渋飴）を開発し、その飴を口腔内に含み一定時間舂めた唾液が新型コロナウイルスのデルタ株を不活化することを試験管内で実証しました。本成果は7月27日付で国際科学誌「Viruses」にオンライン掲載されました。
- ・コロナ陽性患者が、柿渋を含まない飴（コントロール飴）を10分間舂めた直後の唾液では、ウイルス減少効果は見られませんでした。これに対し、開発した柿渋飴を10分間舂めた直後の唾液では、ウイルスは検出限界以下にまで減少（不活化）し、1時間経過してもウイルス抑制の効果が継続しました。その結果を図1に示します。
- ・この意味することは、コロナ陽性患者が柿渋飴を舂めていれば、その唾液のコロナウイルス不活化効果により、周囲者への飛沫・エアロゾル感染のリスクを大幅に減少できる可能性が期待されます。



* 本内容の詳細は、奈良県立医科大学ニュースリリース（下記のURL.又はQRコード）から閲覧できます。

pressrelease230808-1-2.pdf
[\(naramed-u.ac.jp\)](https://naramed-u.ac.jp/)



ご案内

申し込み

難病克服支援WEBセミナーを3週間後に開催します！

<https://pro.form-mailer.jp/fms/5341f61c283072>



第5回 参加無料
MBT難病克服キャンペーン
難病克服支援WEBセミナー
— 難病の人々の状況と治療への光明 —

日時 2023年
9月2日 土 13:30-15:00

- 第1部
- 第2部

13:55~14:25
死を望むひとに私たちは何をすべきか
下畑 享良
(岐阜大学 大学院医学系研究科 脳神経内科学分野 教授)



14:30~15:00
もしきょうだい児という言葉を知っていたら
~患者家族としての後悔~
吉田 ゆかり
(特定非営利活動法人 未来ISSEY 代表)



発行

(一般社団法人) MBTコンソーシアム、(公立大学法人) 奈良県立医科大学
奈良県橿原市四条町840番地研究推進課内 担当 塩山
TEL : 0744-29-8853 (直通)、FAX : 050-3164-5598、Email: mbt@mbt.or.jp